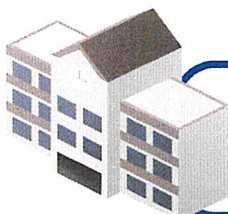


# ももの実



玉北中 校長だより 12

「新規事業」

令和8年5月1日(金)



どうぞご相談ください。

生徒や保護者の皆さんは「特別支援教育コーディネーター」という名前をご存じですか。子どもの発達に関する教職員の理解や専門性を高め、個々の生徒やその保護者のニーズに応じた教育活動を実施するため、校内での職員研修を企画・運営したり、保護者からの相談の窓口を担う役割です。全校で7学級以上ある学校には2名以上配置し、周知を図ることとなっております。今年度は、(次の写真、左から順番に)10組担任の山成紗弥先生、総担任の坂本豊子先生、特別支援学級主任で9組担任の佐々木真由美先生、11組担任の永原豊先生、そして教務主任の大和智先生が担当しています。

上記以外のおもな役割としては、生徒に関して「個別の指導計画」及び「個別の支援計画」の作成、そして専門機関へ相談をする場合や、専門家による巡回相談をお願いしなければならない場合の窓口業務(連絡・調整)を担っています。保護者の皆さま、お子さまのことで気になることがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



今年度より…。

今年度本校では、県教委の『心の居場所推進プロジェクト』の実施校に選出され、これにより、不登校対策の専用教室(自立応援室:本校ではスマイル・ルーム)専属の教員と支援員の配置がありました。次に本プロジェクトの概要についてご紹介します。

## 1. 趣旨

生徒の状況に応じた教室復帰等の状態の改善につなげるとともに、教室の一時利用により、長期欠席・不登校等の未然防止に努める。また、学校全体の長期欠席・不登校対策に関する意識を高める。

## 2. スタッフ(写真左から順番に)

### ①スマイル・ルーム専属教員 原田 昌尚 先生

本校生徒支援コーディネーター

○原則、教科の授業は担当しません。自立応援室(スマイル・ルーム)専属の教員として生徒に寄り添い、必要に応じて家庭やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーはじめ、児童相談所等の関係機関との連携を行います。個々の生徒に関する支援を協議する『ケース会議』や長期欠席生徒に関する対応について話し合う『不登校対策会議』、そしてより過ごしやすい教室環境について考える『スマイル・ルーム運営会議』等の企画・運営にあたります。また、本校の現状や本プロジェクトの進捗よく状況について定期的に県の教育委員会に報告・連絡を行います。



### ②スマイルルーム専属支援員 越後谷保友 先生 西野 恵子 先生

○スマイル・ルームの専属の職員として、自立応援室専属教員とともに、個々の生徒に寄り添いながら、教室の運営を支援します。

## 3. 自立応援室(スマイルルーム:SR)とは?

皆さんが学校や教室に行きにくいと感じたときに…。

- ☆ 心と体の元気を回復する場所。
- ☆ 利用する生徒の安心と安全が保証されている場所。
- ☆ 自分で1日の計画を立て、未来のことを考えながら自学自習に取り組む場所。
- ☆ 学年や学級とつながり所属しているという自覚をもつ場所。

※詳しくは学級担任を通じて、担当の原田までお問い合わせください。

